

### 1. 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

(1) 第34回大阪府理学療法学術大会の準備に関する事業

- ①理学療法学術大会運営に関する学会備品の棚卸し、リストの作成と管理を行う。
- ②理学療法学術大会運営に関する学会備品の貸し出しと管理を行う。

事業番号101：学術大会部

(2) 学術大会の運営支援に関する事業

- ①学術大会開催までのロードマップの作成を行う。
- ②演題管理システムの導入と管理を行う。
- ③マニュアル作成を行う。

事業番号102：学術大会部

### 2. 理学療法に関する機関誌等の発行事業

(1) 学術誌の編集及び発行に関する事業

- ①学術誌への投稿の募集を行う。
- ②学術誌の編集および発行を行う。
- ③学術誌の会員および各機関への配布を行う。

事業番号201：学術誌編集部

(2) 研究活動の助成に関する事業

研究活動の支援を行う。

事業番号202：学術誌編集部

### 3. 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

(1) 第4回研修集会運営支援に関する事業

- ①研修会運営に必要な備品の貸し出しと管理を行う。
- ②研修会会場の視察、仮予約、予約の実施を行う。

事業番号301：学術大会部

(2) 研修会・講習会の開催に関する事業

- ①研修部企画の研修会を年24回開催する。合わせて、登録理学療法士の更新及び認定・専門理学療法士の取得・更新に必要な点数付与等の管理を行う。また、3学会合同呼吸療法認定士及び心臓リハビリテーション指導士の取得・更新に必要となる

単位取得できる企画を行う。開催方法は対面開催を予定しているが、社会情勢に応じてオンライン開催にも対応を行う。

- ②会員及び各部から研修集会・研修会・講習会等の参加状況の登録、管理に関する質疑対応を行う。
- ③新生涯学習制度における登録理学療法士及び認定・専門理学療法士の更新における研修会・講習会当について、日理協が発信する情報を収集し、受託研修部とともに検討を行い、必要な研修会を企画・開催する。

事業番号 302 : 研修部

### (3) 新生涯学習制度における前期・後期研修に関する事業

新人症例発表会の運営に関する事業

- ①新生涯学習制度における前期・後期研修に関する事業を行う
- ②前期研修における A 項目の対面或いはオンライン研修の運営を行う。
- ③後期研修における C 項目（士会オリジナル）の運営を行う。
- ④後期研修における症例検討の運営を行う。
- ⑤前期・後期研修の履修促進の案内を行う。
- ⑥前期研修・後期研修を開催するにあたり、大阪府士会・市区町村士会・各施設の役割を明確にする。
- ⑦新人症例発表会の事業運営を行う。

事業番号 303 : 研修理学療法教育部

### (4) 指導者の育成に関する事業

新指定規則が発足され、その中の 1 つに臨床実習の在り方が見直された。臨床実習指導者は 2 日間の臨床実習指導者講習会（以下、講習会）を受講することが必須となり、現在、臨床実習指導者を量産すべく、各養成校が講習会を開催している。講習会では、現状の臨床実習の問題に焦点を当て、新指定規則、ガイドラインに則った内容で講義とグループワークが実施されている。しかし、学生指導にあたる現場において、実際にどのように運用していくのか、特に診療参加型実習は、従来型に慣れた指導者が戸惑うことが予想される。そこで、診療参加型実習指導者マニュアルの作成と臨床実習指導者の質の向上を目的とした事例検討やワークショップ形式での研修会の開催や育成を行う。

事業番号 304 : 臨床実習教育部

### (5) 臨床実習教育基準に関する事業

新指定規則が発足され、臨床実習の形態は診療参加型実習が推奨されることとなった。診療参加型実習は、学生を臨床現場で正統的周辺参加させ、専門職としての

技術を向上させる実習形態である。ただ、新指定規則でも規定されている通り、臨床実習前に実習生の技術等に関して実技試験等による評価を行い、直接患者に接するに当たり、総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることを確認する必要がある。日本理学療法教育学会では、卒前教育の教育水準の一つとして、臨床実習前の共用試験（OSCE）の合格を挙げている。各養成校での共用試験（OSCE）が進むように研修会やワークショップを開催し、各養成校全体の学内教育の質の向上に繋げる一助としたい。

事業番号 305：臨床実習教育部

#### 4. 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

##### (1) 協会主催の研修会(認定理学療法士)の運営に関する事業

###### ①理学療法士講習会（協会助成金事業と府士会主催事業）の申請に関する事業

- ・申請窓口業務
- ・申請書の作成指導と確認
- ・協会からの助成金を希望する講習会の審査および審査基準の作成

###### ②認定理学療法士認定臨床カリキュラム教育機関

- ・申請
- ・講師の選択
- ・実施

事業番号 401：受託研修部

#### 5. 法人の目的を達成するために必要な事業

##### (1) ホームページ及びSNSによる広報に関する事業

- ①IT を活用した学術関連の広報活動を行う。
- ②大阪府理学療法士会生涯学習センターのホームページの管理・運営を行う。
- ③ソーシャル・ネットワークサービス(SNS)の管理・運営を行う。

事業番号 501：ソーシャルメディア管理部

##### (2) ニュースの編集及びホームページ掲載に関する事業

- ①研修会・講習会・学会等の学術関連の広報活動に関する事を行う。
- ②ホームページにセンターの活動・学術等に関する掲載を行う。

事業番号 502：ニュース編集部

(3) 役員の行動に伴う業務管理に関する事業

- ①理事会開催の管理を行う。
- ②総会、学会、部会などへの出席の管理を行う。
- ③他団体との交際の管理を行う。

事業番号503：総務部

(4) 理学療法説明会に関する事業

府士会と共催し、新卒者及び未入会者に対して生涯学習センターの紹介を行う。

事業番号504：総務部

(5) センター運営の支援に関する事業

- ①理事会、定期総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行う。
- ②表彰に関する準備を行う。
- ③議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行う。
- ④公文書、申請書、報告書の発行と保管を行う。
- ⑤センター刊行物、各種資料の保管を行う。
- ⑥儀礼、慶弔対応を行う。
- ⑦事務所、事務職員の管理を行う。
- ⑧協会との事務連絡を行う。

事業番号505：総務部

(6) 理事長活動に伴う業務管理に関する事業

他団体との交流などの管理を行う。

事業番号506：総務部

(7) 局・部運営に伴う業務の管理に関する事業

- ①局及び部会議の開催に関する管理を行う。
- ②センター以外の諸会議への出席に関する管理を行う。
- ③新事業や新委員会発足に関する管理を行う。

事業番号507：財務部

(8) 財務管理に関する事業

- ①会計業務委託先と連携を取り財務管理を行う。
- ②年間予算の作成及び各部支出状況を管理する。

- ・予算・決算に関する事業を行う。
- ・事業収入に関する事業を行う。
- ・事業費、管理費の支出などに関する事を行う。
- ・流動資産の管理に関する事を行う。
- ・支給規則の遵守に関する事を行う。

事業番号508：財務部

(9) 新年互礼会の開催に関する事業

府士会の共催において、関係職能団体、関係行政機関担当、会員、相互関係の交流と親睦を深めることを目的とする。

事業番号509：総務部

(10) 役員選挙に関する事業

定款に基づく役員改選の準備を行う。

事業番号510：選挙管理委員会

(11) 情報技術の活用・支援に関する事業

- ①法人 Zoom アカウント管理を行う。
- ②大阪府理学療法学術大会サポートを行う。
- ③生涯学習研修集会サポートを行う。
- ④ 理学療法講習会サポートを行う。

事業番号511：システムエンジニアリング部